

学校経営方針(中期経営目標)	昨年度の成果と課題	本年度の学校経営の重点(短期経営目標)
<p>本校の教育方針「人間性」「先駆者精神」「克己」の理念をあらゆる教育活動に活かし、知・徳・体のバランスに配慮した生徒一人ひとりの学力の向上と個性の伸長を図り、地域社会から期待される人材の育成を図る。</p> <p>平成22年度策定「Mission Statement」</p> <p>◆ミッション 「自律する人間」の育成</p> <p>◆ビジョン</p> <p>○育てる生徒像…克己心・挑戦・自己理解・目標の設定と達成・夢の設計と実現</p> <p>○実行する教育…考える力育成・克己への支援・心身の鍛錬・社会性育成</p> <p>◆長期目標</p> <p>○在校生…課題を発見し、考え、まとめ、発信できる。</p> <p>○卒業生…母校に誇りを持ち、社会に貢献する。</p> <p>○中学生…夢が叶う高校として憧れる。</p> <p>○教職員…夢を共有し、ビジョンの実現を目指し、協働する。</p>	<p>○学力向上について</p> <p>各学年ともほぼ学力向上が図れた。各教科が中間総括だけでなく、実力テスト毎にPDCAを行い、組織的に授業に結びつける体制ができた。</p> <p>○SGHアソシエイトとして</p> <p>学力の三要素の「思考力・判断力・表現力」についてSGHアソシエイトとして取組が進んだが、「学習への主体性・意欲向上」の取組は課題である。知識・技能の獲得と大学受験だけの取組から突き抜けることが更に望まれる。</p> <p>○人権意識等</p> <p>いじめや暴力等の課題があったが、早期連携と指導により解決し、落ち着いた学習環境が保たれた。</p> <p>○部活動</p> <p>各部とも活性化と共に、成果を出した。学習との両立への取組が更に必要である。</p> <p>○広報活動</p> <p>効果的な広報活動の成果として本校をよく理解した新入生を迎えられた。</p>	<p>平成22年策定「Mission Statement」のミッション・ビジョン・長期目標の再確認と新たなミッションであるグローバルリーダー育成に向けて、組織体制を確立し、プログラムを実行していく。以下の点を本年度学校経営計画の重点とする。</p> <p>【本年度目標】</p> <p>(1)グローバル・リーダー育成に向けて、スーパーグローバルハイスクール研究開発実施計画を着実に実施し、成果に結びつけていく。</p> <p>①全教職員が授業で学力（知識技能習得、思考力・判断力・表現力育成、学習への主体性・意欲向上）向上させるため、学びネットワークを活用し、アクティブ・ラーニング等による統合的・発展的なリベラル・アーツ教育を推進する。</p> <p>②新たな取組であるイノベーション探究やグローバル・コンピテンシー育成研究のプログラムを計画し、それぞれの目標達成を図る。</p> <p>③鳥羽の学びのネットワークとの連携を密にし、各研究開発でWIN-WINとなるプログラムを作成・実行する。</p> <p>(2)あらゆる教育活動において「見える化」をはかり、組織的・計画的な連携・協力の下、教育目標達成を図る。</p> <p>(3)あらゆる教育活動において人権感覚を涵養し、社会貢献への意識へと昇華させていく。</p> <p>(4)人間性の育成と共に学力として部活動を位置づけ、各部の目標設定と達成への活性化を図り、生徒の個性伸長と自律する人間育成を図る。</p> <p>(5)規律ある中で互いに助け合い切磋琢磨する質の高い学習集団を作り、組織的・計画的な進路指導により適切な進路実現を図る。</p> <p>(6)本校の学校の方向性や生徒の活動を広くわかりやすく広報することで教育活動の活性化に結びつける。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	コメント
学習指導	リベラルアーツ教育を推進し、生徒の学力・教養力向上を図る。	あらゆる教育活動を通じて思考力・判断力・表現力を養い、生徒一人ひとりが主体的に課題を設定し自学自習に取り組むよう指導する。 学習状況調査、授業評価、学力状況等を分析して、生徒個々の学力向上のための効果的な教科指導（アクティブ・ラーニング等）を行い、リベラルアーツ教育を推進する。		
生徒指導	ルールとマナーを守らせる。	<p>基本的生活習慣の確立、安全指導及び問題事象の未然防止について、その目的・基本姿勢を確認し、教職員が一致した基準・方法で指導する。</p> <p>あいさつを交わす、正しい言葉を遣う、身だしなみを整えることは、マナーの基本であることを理解させ、実践できるよう指導する。</p> <p>生徒会、各種委員会、クラス活動、ボランティア活動などを通じて、協働する力を養う。</p> <p>部活動を通して、技能を修得するだけでなく、思考力・判断力・表現力を育成し、主体性・意欲の向上につながるよう指導する。チーム内で切磋琢磨し、より高い目標を設定し、突破する力を養う。</p> <p>ルールとマナーを守り、互いに尊重しあう人間関係を築き、違いを認めあう寛容な心を育てる。</p> <p>各種イベントやボランティア活動への参加を促し、社会貢献への意識を高める。</p>		
進路指導	<p>生徒一人ひとりの進路希望を実現する。</p> <p>職業観・勤労観を育成する。</p>	<p>生徒一人ひとりの進路実現を果たせるよう、模擬試験等の多角的なデータ分析のもと、個に応じた進路指導を行い、就職率100%、全卒業生に対する国公立大学・難関私立大学進学者の比率25%以上を達成する。</p> <p>望ましい職業観・勤労観を身につけさせ、主体的に進路を選択する能力・態度を身につけさせるため、計画的・継続的に進路指導・キャリア教育を行う。</p>		
国際・人権	<p>組織的にいじめの未然防止を図る。</p> <p>SGH指定校・京都グローバルハイスクールネットワーク校として、グローバル・リーダーの素養を涵養する。</p>	<p>いじめについての理解を深め、「いじめ防止対策推進法」「京都府いじめ防止基本方針」「鳥羽高等学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめ対策委員会を中心に組織的にいじめの未然防止、早期発見を図る。</p> <p>帰国子女（海外・中国）受入校としての実績を活かし、海外学校の来校等の機会を活用した国際交流や、論文コンテスト、英語プレゼンテーション大会等を通じて、国際的視野を持って思考・判断・表現する力を育成する。</p>		
保健・特別支援	健康の保持増進と支援の必要な生徒の課題解決に必要な学校環境作りを進める。	検診等の結果を踏まえ、生徒の心身の健康の保持増進に努め、学校における保健管理、安全管理を適切に進めるとともに、支援の必要な生徒の教育的ニーズに応じて学習上、生活上の困難を改善する。		
読書指導	読書活動を推進する。	図書館利用を促進して読書活動を活性化し、豊かな教養と広い視野を育てる。		
家庭・地域社会との連携	家庭・地域・社会との連携と交流を積極的に行う。	新しくなったHPをはじめ、説明会や出版物等を通じ、本校の教育活動に関して幅広く積極的な情報発信を行い、本校への理解を深める。		
施設設備・文書・情報管理	<p>学習環境の質を確保する。</p> <p>個人情報に配慮した文書管理・情報管理を行う。</p>	<p>耐震改修工事の円滑な実施に向けて教職員の共通理解を図り、生徒の安全を確保する。</p> <p>紙文書、デジタルデータともに、個人情報に配慮した適切な文書管理・情報管理を行う。</p>		

評価の基準 4:十分達成できている。(目標以上の成果が得られている。) 3:ほぼ達成できている。(ほぼ目標通りの成果が得られている。) 2:達成できるとはいえない。(成果はあったが、目標には達成できていない。) 1:ほとんど達成できていない。(ほとんど成果が得られていない。)

学校関係者評価委員会による評価	
次年度に向けた改善の方向性	